

## SDGsって何？



「誰一人取り残さない」  
世界共通17の目標

世界が直面するさまざまな問題をみんなで協力して解決していくため、2015年に国連で採択された「世界共通の目標」17の目標（ゴール）と169の達成基準（ターゲット）が設定されており、2030年までの達成を目指しています。

SDGsが目指す「誰一人取り残さない」持続可能な社会を実現するためには、先進国や途上国などの垣根を越え、国や自治体、企業だけでなく、私たち一人一人が協力して目標達成に向けて取り組んでいくことが大切です。今を生きていく私たちだけでなく、子どもや孫など将来の世代もこの地球で、このまちで豊かに幸せに暮らしていくため、SDGsに取り組んでいく必要があります。

世界で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症は、私たちの生活や価値観、社会の仕組みを大きく変えました。この困難を乗り越え大きな変化に対応していくためにも、SDGsの視点が重要です。

持続可能な社会を実現するために、  
今を生きる私たちが「自分のこと」として行動を起こす必要があります。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



※次号（だいせん日和11月号）から「17の目標」を一つずつ具体的に紹介していきます。

## なぜSDGsに取り組む必要があるの？



「今」の生活を  
「未来」につなげる

17の目標の中から「13気候変動に具体的な対策を」で考えてみましょう。

私たちの日常生活では、電気や車などを使うことでたくさんのCO<sub>2</sub>（二酸化炭素）が排出されています。近年多発する自然災害は、このCO<sub>2</sub>を含む温室効果ガスの排出量増加による地球温暖化が一因とされています。例えば、自然災害の一つとして、集中豪雨や台風による大雨は、時には川を氾濫させ、堤防や道路、橋、建物などを壊し、私たちの「いつもどおりの生活」を奪っていきまします。CO<sub>2</sub>の排出量を減らすことができれば、大雨の発生頻度を減らすことができるかもしれません。



## 大仙市の取り組み



まずは気付くこと、  
そして行動していくこと

市では、令和2年3月に「大仙市SDGs推進方針」を策定。この方針のもと、まずは市の各種計画へのSDGs要素の反映や、職員研修を通じた市職員の理解促進などに取り組んできました。今年度からは、図書館での「SDGs図書コーナー」の設置や広報を通じ、市民の皆さんに理解を深めてもらいながら、市全体の機運を高める取り組みを進めています。

また、さまざまなテーマや課題について中学生が話し合う「中学生サミット」でもSDGsがテーマにされており、地域の将来を担う若い世代が率先し、何ができるのかを自ら考え、行動に移しています。SDGsを達成するためには、まずは気付くことが大切。今を生きる私たちは何をしなければならぬのか、そして何ができるのか。一人一人が「自分のこと」として考え、そして行動していくことが大切です。

## 日常生活でできるSDGs



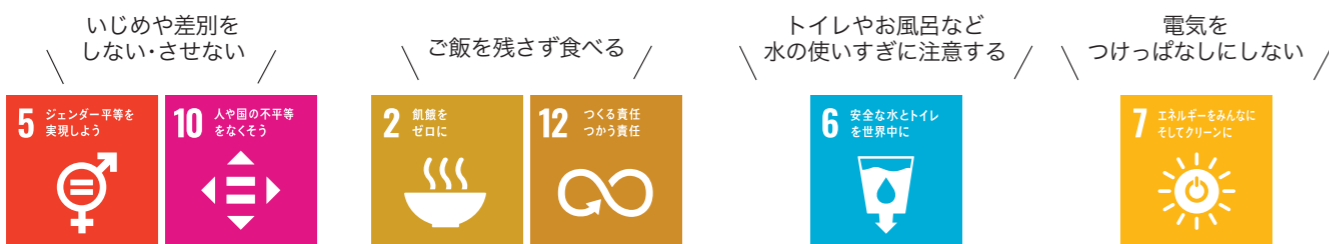
日常の小さな一歩が  
未来への大きな一歩に

SDGsを達成するためには、皆さん一人一人の行動とそれぞれの取り組みが重要です。

世界規模の目標だから「自分には関係ない」、英語が並んでいて「難しそう」と感じたかもしれません。ですが、例えば「残さず食べる（2・12に該当）」「節水（6に該当）」「節電（7に該当）」などは、身近なSDGs。このように、日常生活の中でできることはたくさんあります。

日常生活の「ちょっとしたこと」でも、一人一人が行動することで目標達成に近づきます。たとえ小さな一歩でも、社会を、そして未来を変える大きな一歩につながります。「今」と「未来」のために、今私たちができることがあります。まずは、

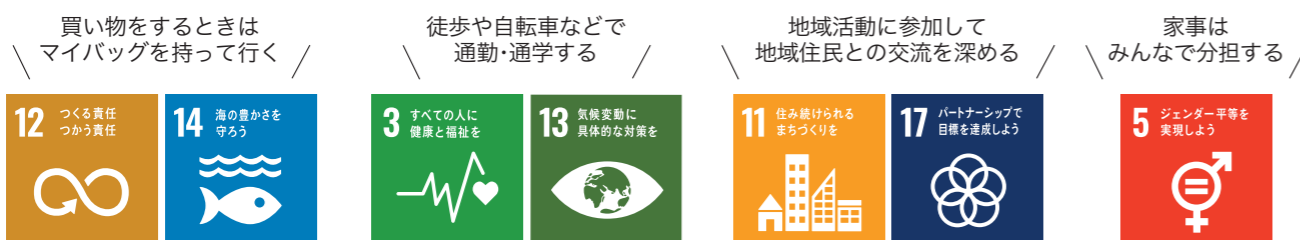
さあ、今日からあなたも  
行動してみよう！



「今」と「未来」のために、今私たちができること

日常生活の小さな気付きや行動が、今と未来を守ります  
今日から少しずつ行動してみよう

日常の行動もSDGs達成につながる！ 今日から行動してみよう！



将来にわたって全ての人が豊かで幸せであり続けられるために、  
今の生活をより良くするための目標

